

## 第2回 苫小牧市防犯のまちづくり懇話会 質問・意見・要望事項

**案件名** 街路灯・防犯灯について

市内中央から西部地区にかけての街並みの暗さが目立ちます。特に苫小牧駅横の駐車場を夕方暗くなってから利用した時は、途中の道の閑散とした雰囲気とあまりの暗さに、怖さを感じました。いつ犯罪が起こってもおかしくないと思えました。

駅周辺は、市民として、多くの方が利用する所であり、また苫小牧市の顔ともいえる大切な場所です。

さらに、市内東部地域は街灯が明るいのですが、中央部から西部地域は薄暗く感じます。

もっと全体を明るくし、誰もが安心安全な場所にするべきと考えます。

**回 答**

御指摘のありました苫小牧駅横の駐車場までの通りの街路灯は、水銀灯とナトリウム灯が設置されておりますが、来年度LED化に更新することになっており、照度が上がるものと考えております。

また、中央部から西地区につきましても、ワット数の大きいものから順次LED化事業に取り組んでおります。

なお、住宅街など比較的幅員の狭い生活道路の街路灯は町内会が設置するものでございますことから、地域住民や町内会からの御要望に基づきその都度現地確認を行い、限られた予算の中で、必要な箇所に必要な街路灯を適切に設置してまいりたいと考えております。

**案件名** 街路灯・防犯灯について

他の市等から来た方からよく聞くのは、苫小牧は市全体が暗いという事です。

幹線道路の街路灯も少なく暗い印象を受けるようです。市の5か年計画には、街路灯の維持・管理と町内会に対する助成が計画されていますが、増設や明るくするための工夫などは計画されていないのでしょうか。

仕組みがわからないのですが、助成があるとはいえ、町内会が設置するという事で、必要なところに十分な設置ができるのでしょうか。

苫小牧市も人口が減少に転じ、また、町内会離れの人が増えている中、維持・運営が難しくなっている町内会もあるのではないのでしょうか。

**回 答**

街路灯につきましては、幅員の広い幹線道路は市が設置し、住宅街などの生活道路は町内会が設置し、市がその工事費用の一部を補助しております。

街路灯の設置の際には、毎年、全町内会に対して事前要望を行い、現地調査を経て設置しておりますが、この数年は、町内会要望に全て応えている状況となっております。

また、街路灯の維持・管理につきましては、基本的に町内会にお願いしておりますが、電気料金に対する全額補助を実施しているほか、街路灯のLED化に伴い、灯具不良の場合は市が保証するなど、可能な限り町内会の負担軽減に努めているところでございます。

案件名 30～50代の方々の意識向上のための、防犯CSRの促進について

子どもたちの安全に対して、役所・警察及び学校というフォーマルな立場、保護者や子どもたち自身という当事者、地域や町内会のようなインフォーマルな立場を、より強固に結び付け、当事者たちの犯罪被害防止能力の向上も含めて安全に貢献したいと、セミフォーマルな立場として当法人が安全関連事業を立ち上げてから17年目になりました。

大阪池田小事件等が発生した当時は、「子どもの安全」が最大の関心事で、当法人も様々な事業を展開してまいりましたが、この間に大きな自然災害もあり、人々の関心事は防犯から防災へ向かった感じがあります。

防犯活動や関連事業で築かれた絆や連帯は、防災にも大いに役立つでしょうし、また「危機管理」や「被害防止」という観点で共通しますので、これからは線的に分けるよりは、共通する細やかな点を認識しながら結び付けていけたらと願います。

市民のアンケート等を確認したところ、不安を感じている犯罪は「空き巣」などがトップで、次いで「車上狙い」や「振り込め詐欺」と続き、「子どもをねらった犯罪」については8.8%とあります。

また、犯罪被害に逢う場所についても、「庭や車庫を含む自宅」が3割近くで、次いで道路「通勤・通学路」が含まれているようです。

このアンケートの回答者が60代から70代が多いので、子どもの安全よりは自分の家での防犯に関心が行くのは仕方がないことだとは思いますが、子どもたちが安全に通学したり遊んだりできるまちは、すなわち高齢者にとっても安全な地域ということだと思います。

防犯カメラやフォーマルなパトロールなどではなく、日常の暮らしの中に「犯罪被害防止」、「犯罪に強いまちづくり」の種がありということを啓発していけたらと思います。

そこで、防犯CSRの促進を提案します。警察で行っているものもあるのですが、苫小牧は大手企業がたくさんある街です。パトロール用車両寄贈というような一時的なものではなく、大手企業に働く社員の皆さんが、月に1度でも、年に1回でも地域安全パトロールをするような、実働を伴ったことをすることによって、地域の安全とともに社員の皆さんの意識も向上すると思われれます。その方々は、子どもたちの親かもしれません。高齢者の息子、娘かもしれません。広報などで紹介してもらえれば、企業価値や知名度も上がり、犯罪の起きにくいまちづくりにもなり、地域の治安も向上し、自分の家族の安心感も醸成されることは企業にとっても、社員にとっても、苫小牧市にとってもいいことになると思います。

回 答

苫小牧市では、民間企業等と連携して地域の課題に対応し、市民サービスの向上や暮らしやすい地域づくりを目指すことを目的として、民間企業等と協定を締結しています。

すでに連携協力事項として、児童の登下校時の見守り活動や不審者、犯罪者等から市民を守る取組に協力いただいている企業もございますので、地域パトロールへの参加についても御協力をお願いしてまいります。

**案件名 青色防犯パトロールについて**

防犯パトロール（青色灯）車の登録台数が増えているようですが、市内を走っているのをほとんど見たことがありません。もっとパトロールの回数を増やしたら如何でしょうか。

**回 答**

青色防犯パトロールは、地域の方々が主体となって取り組む自主防犯活動の一つです。実施するには警察署に申請する必要があり、現在、認定された町内会やNPO法人など29団体64台がパトロール活動に従事されています。

青色パトロールの巡回地域や日時については、各団体が判断して実施していただくことになっておりますが、昨年来の新型コロナウイルス感染拡大にともない、各団体からは青色パトロール以外の活動も含め自粛せざるを得ない状況と伺っております。

活動の再開時期や回数につきましては、各団体の御判断によりますが、市といたしましては、今後も青色回転灯の提供など自主防犯活動への支援を行ってまいります。

なお、市少年指導センターでは、青少年の非行と事故防止を主な目的に小中学校付近、公園、ゲームセンターなどの遊技場、海岸や河川などの危険箇所を中心に、青色回転灯車両2台で年間約800回の巡回パトロールを行っており、新型コロナウイルスの動向にとらわれることなく実施しておりますので、御理解をお願いいたします。

**案件名 車上狙い等窃盗への対策について**

報道によると、駐車中の車両窓ガラスが割られ、現金が入っているバッグ等が盗まれる被害が多数発生しているようです。

また、ATMや病院の待合室等において置き忘れ等による盗難も発生しており、注意喚起のポスター等を貼付すると発生件数の減少に少しは繋がると思います。さらに、不審者情報も多発しており、発生場所に注意喚起看板を立て啓発することも必要だと思います。

**回 答**

車上狙いについては、先週も市内東部で連続して被害が発生していることから、警察と協力して防犯だよりなどで注意を呼び掛けているところで

す。ATMや待合室等から他人の荷物を持ち去る、いわゆる置き引きの市内発生件数は、令和2年が5件、令和元年13件で8件減少しておりますが、昨年と比較して減少していると伺っておりますが、さらなる被害防止のため御提案のポスター等啓発活動について、警察等関係者等と協議してまいります。次に、不審者等情報については、今年度は昨日までに52件報告されており、昨年度の61件を大幅に下回っております。不審者等が発生した際には、被害拡大防止を図るため、学校・市・警察等で情報を共有し事案により学校から保護者にメールを送信するなどの対応を取っております。注意看板については、これまでも当該町内会と協議し設置し注意を促しておりますので、御理解をお願いいたします。